

千秀だより

横浜市立千秀小学校

12月号

平成25年(2013). 12. 1



みんな笑顔で冬休みを

校長 市川幸男

大船駅前の店が赤や緑といったクリスマスカラーに装いを変え、冬の訪れを感じる季節となりました。11月のカレンダーをめくると、もう12月、残すところ一枚となり、一年の締めくくりの月となりました。保護者の皆様には、日頃からの本校へのご理解ご協力賜りまして、ありがとうございます。12月の訪れとともに、熱や頭痛で体調を崩す子どもが多くなってきています。健康のままに、学校全員で楽しい冬休みが迎えられるよう、十分に留意して参ります。ご家庭でも健康観察よろしくご協力願います。

さて、12月4日から10日まで、人権週間がやって参ります。人権という差別の問題やいろいろなハラスメントなどがありますが、私たち学校関係者は、どうしても「いじめ」という言葉が頭をよぎります。国も現在の大変痛ましい状況を重く見て「いじめ防止対策推進法」を9月28日に施行いたしました。しかし、法律があるから「いじめはいけない」ではありません。「ならぬことはならぬ」「だめなものはだめ」なんです。そんなことを子どもたちに伝えたくて、先日、松谷みよ子さんの作品を題材にした講話を行いました。心の傷には決してかさぶたができないこと、人は誰もが幸せを願い、そしてその思いは誰であろうと、どんな理由であろうと、犯すことはできないことなど、子どもたちの心に残ってくれたら嬉しく思います。それに並行して、本校の子どもたちの心の言葉を聞きたいと考え、今週から来週にかけて、いじめに関するアンケート調査の実施と、気になる子どもには管理職による面談を実施したいと計画しています。

「いじめは許さない、いじめた人が100%悪い。また、いじめられたからといって自分を否定してはいけません。先生たちが必ず助けます。」が本校のいじめに対する絶対方針です。

話は変わりますが、本校では毎年、年度の始まりとまとめの時期に、子ども人権会議を開催しています。本年度は6月21日の放課後、3年生以上の各学級の代表がクラスで話し合ってきた取り組みの持ち寄り、互いの取り組みについての意見交換をするという形で開催いたしました。各クラスともそれぞれの学年なりの取り組みを持ってきて、実現できたら素晴らしい取り組みになると思いました。クラスの取り組みとともに、学校全体を通じてのテーマとして

みんなが えがおになる ことばを ふやそう

- ・やさしいことばをつかおう
- ・あいてがうれしくなることばをかながえよう
- ・あいさつは「ふわふわことば」。学校をあいさつでいっぱいになろう

が確認されました。でも、本当に大切な事は決める事ではなく、実現に向け努力する事だと考えます。会議を開き、決定する事で満足し、後は時間の経過とともにないがしろにされてしまう事がよく見られます。12月4日から始まる人権週間。学校でも子どもの人権意識を高めるいろいろな取り組みを実施いたしますが、合わせて、6月の「子ども人権会議」の時にもどり、誰もが安心して豊かな学校生活を送れるよう、一層努力して参ります。